

子育て世代の皆さまへ ~水道水の安全性のお話~

☆県営水道広報部長のカッピーがお答えします!!



「赤ちゃんのミルクは水道水で作って大丈夫かしら？」



「県営水道では、150種類以上の水質試験を定期的に行い、水道水の安全性を確認していますので、赤ちゃんに与えるミルクをつくる水としても、安心してお使いいただけます。」

なお、県営水道の主な水源である相模川は、富士山のふもとから湧き出たきれいな水が、山梨県の忍野八海や山中湖から流れ込む、水量・水質ともに安定した神奈川県最大の一級河川です。」



詳しくは、次のホームページに掲載しています。

- 水質基準(51項目)の検査結果については、 <http://www.pref.kanagawa.jp/cnt/f360544/>
- すべての項目の検査結果については、 <http://www.pref.kanagawa.jp/cnt/p536681.html>



「放射能が気になるので子どもにはミネラルウォーターを飲ませているのですが、どうなのですか？」



「県営水道では、9ヶ所の浄水場と3ヶ所の水源で、定期的に放射能検査を行っています。水道水の目標値(10ベクレル/kg)として定められている放射性セシウムについては、測定を開始して以来、

一度も検出されたことはないのです、水道水の安全性に問題はありません。」



※なお、放射性ヨウ素については、平成23年3月22日から24日の3日間、寒川浄水場の水道水から検出されましたが、国が定めた飲食物摂取制限に関する指標値及び食品衛生法に基づく乳児に関する暫定規制値(100ベクレル/kg)未満で、健康に影響のあるレベルではありませんでした。放射性ヨウ素については、半減期が短く(約8日)、周辺環境においても検出されなくなったため、水道水の新たな目標値は設定されていません。



詳しくは、次のホームページに掲載しています。

- 放射能濃度検査結果については、 <http://www.pref.kanagawa.jp/cnt/f300707/>
- 放射能検査に関するQ&Aについては、 <http://www.pref.kanagawa.jp/cnt/p454694.html>



「ぼくが飲んでいる水は、どうやって作られているの？」



「ぼくが、水道水をつくっている寒川浄水場を案内するよ！」



「ワーイ、ヤッター！ 行ってみよう!!」

川から水を取っていると、いろんなものが混ざってるんじゃないの？

浄水場では、川の水の濁りを取り除いたり、塩素などの薬品を入れて消毒したりして、とてもきれいな水をつくっています。

あれ？ 魚が泳いでいる水そうがあるよ？

川の水を取り入れた水そうです。魚やエビを飼いながら様子を監視することにより、異常がないかを確認しています。

川から導水管を通して水が届く

ろ過池 (1) 沈んで池: フロックを静かに沈ませてきれいな上水を取る

ろ過池 (2) ろ過池: 細かい砂の層を通して小さい泥やごみを取り除く

沈砂池: 水にまざっている砂を沈めて、取り除く

急速かくはん池: 薬品がよくまざるようにかきまぜる

フロック形成池: 薬品と水をゆっくりかきまぜてフロック(沈みやすいにごりのかたまり)をつくる

消毒: 塩素剤(次亜塩素酸ナトリウム)という薬品を入れて消毒する

浄水池: 飲めるようになったきれいな水をいったんたくわえておく

配水池へ送る

送水ポンプ

浄水場できれいになった水は、家のじゃ口に届くまで安全なのかな？

浄水場でつくられた水道水は、自動水質測定装置で常時監視しているので、安全です。

24時間体制で、浄水場の水の状況を監視しているところです。

ここは何をしているところなの？

神奈川県営水道
給水区域



相模原市(一部の地域を除く)、鎌倉市、逗子市、葉山町(一部の地域を除く)、藤沢市、茅ヶ崎市、寒川町、平塚市(一部の地域を除く)、小田原市(一部)、大磯町、二宮町、厚木市、伊勢原市、愛川町(一部)、海老名市、綾瀬市、大和市、箱根町(一部)